

霞ヶ浦新庁舎

竣工式典

4月 28日

行政事務の多様化に伴う庁舎スペースの狭あい化と経年による老朽化に伴い、平成19年度から移転整備が進められてきた霞ヶ浦新庁舎が完成し、お披露目を祝う竣工式典が行われました。式典には、来賓として周辺首長、地元選出県議、市議の皆様を始め関係者約180人が参列されました。

市長は「新庁舎は効率性と機能性を重視し、太陽光発電設備の他に、自然採光、自然通風など環境に配慮し整備しました。地域の発展とまちづくりの拠点としていっそその活用を目指します。」と新庁舎の特徴を紹介し、式辞を述べました。

用地提供者、寄付者、工事関係者に市長が感謝状を贈呈。南中学校吹奏楽部のファンファーレ演奏でテープカットを行い、式典に花を添えました。

午後からは、新庁舎を一般開放し、あいにくの雨模様の中でしたが、近隣の方々が新しく生まれ変わった新庁舎を訪れ、親しく見学しました。訪れた方からは、「通りからみてもすぐわかるので、いいですね。」「今までは市役所に来ることはあまりなかったけど、明るく開放的な雰囲気なので、何かの機会に足を運びたいですね。」「この声をいただきました。



式典を盛り上げた南中学校吹奏楽部の演奏



式辞を述べる市長

4月 30日

旧庁舎閉庁式



長い間お世話になりました



旧庁舎の2階・3階からクレーン車で机や椅子などを搬送。大型連休を利用しての引越し作業が行われました。



自然採光、自然通風で明るく快適な新庁舎のエントランスホール

5月 6日

霞ヶ浦新庁舎始動

正面玄関前に職員が整列して霞ヶ浦新庁舎の開庁式を行った後、午前8時半に業務をスタートしました。利用者の多い、住民異動届や各種証明書発行などの総合窓口となる霞ヶ浦窓口センターは玄関を入ってすぐ右手に、会計窓口は、裏手へ直進し右側に設置してあります。



ワンフロア構造により“もっと簡単に、もっと手早く”が実現可能に

霞ヶ浦庁舎案内図 (所在：大和田562)

